

# 道産きのこの品種開発と活用

利用部 微生物グループ 原田 陽

林産試験場では今までに、きのこの施設栽培で活用可能な**道産品種**の**開発**を行い、**4品種**（ブナシメジ2品種、タモギタケ、マイタケ）について種苗法にもとづく**品種登録**を行ってきました。他にも**エノキタケ**（野生型）、**ムキタケ**などの優良品種を開発してきました。これらの品種は、実際に道内の生産施設で活用されています。開発品種の特徴と活用例について紹介します。



## ブナシメジ



風味にくせがなく**食感が良い**ことから、和・洋・中と幅広い料理に活用可能。

●マーブレ219  
品種登録第20595号  
2011年3月登録  
栽培期間短縮可能かつ地域資源「**カラマツ**」の活用に適した品種



マーブレ219の生産状況と製品

## タモギタケ



独特の風味を持ち**ダシがよく**でることから、グラタン、炊き込みご飯、汁ものや鍋ものとの相性が良い。

●エルムマッシュ291  
品種登録第15387号  
2007年3月登録  
生産効率、食感および加工適性が向上した品種



エルムマッシュ291の生産状況と製品群

## マイタケ



風味が**特徴的**で食感が良いことから、天ぷら、炊き込みご飯、鍋ものや汁ものとの相性が良い。

●大雪華の舞1号  
品種登録第17041号  
2008年6月登録  
地域資源「**カラマツ**」の活用可能な品種



## エノキタケ（野生型）

**野生**エノキタケ本来の風味を持ち、適度なぬめりがあることから、大根おろし和え、パスタ、汁ものとの相性が良い。

●えぞ雪の下  
地域資源「**カラマツ**、**トドマツ**」が活用可能かつ野生本来の風味を持った品種

